

シラバス(授業内容)

インナービューティ科 2年

メイクアップアーティスト専攻

シラバス(授業内容)

科目名	ITコミュニケーション			クラス名	Q2D	
1年単位	前期	-	後期	1 単位	1年合計単位	1 単位
2年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	2年合計単位	2 単位
担当講師	田中 みゆき					
	実務経験	有	企業研修や大学での授業経験をもとに、企業のニーズに応えられるよう指導を行う。			
目的及び概要	現代社会においてはパソコンが使えるだけでなくパソコンを活用できる能力が必要とされています。1年次で学んだ基礎技能の復習を行いながら、Word、Excel、PowerPointの応用的な機能を学習します。					
到達目標	Wordでいろいろな印刷を行うことができる。 作表スキルの習得と、データを扱うための力を身に付ける。 プレゼン資料を作成できる。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	Office2016(実教出版)					
<授業計画>	前 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	お礼状の作成	Word お礼状の作成			
第2回	2	Gmail	メールの作成、送受信、返信、署名、添付ファイル			
第3回	3	Wordで表の活用しよう	Word 表を挿入したビジネス文書の作成			
第4回	4	レポート作成	Word レポートの作成、表紙の挿入、ページ番号の挿入			
第5回	5	プレゼン作成	PowerPoint 基本操作復習			
第6回	6	プレゼン作成	PowerPoint 画面切り替え効果、アニメーション効果、印刷			
第7回	7	関数を使おう	Excel オートフィル、関数、表の編集			
第8回	8	ワークシートの管理	Excel オートフィルの活用、ワークシートの管理			
第9回	9	グラフ機能	Excel グラフ機能			
第10回	10	Excelで表を作成しよう	Excel 作表まとめ			
第11回	11	袋とじ印刷	Word 袋とじ印刷			
第12回	12	はがき印刷	Word はがきの作成印刷			
第13回	13	試験対策	Word 試験対策			
第14回	14	期末試験	Word 期末試験			
第15回	15	期末試験の解説	期末試験の解説と前期の振返り			
初回持ち物	教科書、筆記用具					
成績評価方法	・出席率		定期試験	筆記試験		
	・定期試験や小テスト			○ 実技試験		
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	ITコミュニケーション			クラス名	Q2D	
1年単位	前期	-	後期	1 単位	1年合計単位	1 単位
2年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	2年合計単位	2 単位
担当講師	田中 みゆき					
	実務経験	有	企業研修や大学での授業経験をもとに、企業のニーズに応えられるよう指導を行う。			
目的及び概要	現代社会においてはパソコンが使えるだけでなくパソコンを活用できる能力が必要とされています。Word、Excel、PowerPointの応用的な機能を学習します。					
到達目標	図及び図形を活用した文書を作成することができる。 作表スキルの習得と、データを扱うための力を身に付ける。 プレゼン資料を作成できる。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	Office2016(実教出版)					
<授業計画>	後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	Word 表現力のある文書の作成	Word 図と図形の挿入の復習			
第2回	2	画像の編集と加工	Word Officeのフォトタッチ機能			
第3回	3	図の挿入と図形の活用	Word 図の挿入と図形の活用			
第4回	4	PowerPoint復習	PowerPoint復習			
第5回	5	ノートの活用と印刷	PowerPoint ノートの活用と印刷			
第6回	6	プレゼン作成	PowerPoint プレゼンテーション資料の作成			
第7回	7	プレゼン作成	PowerPoint プレゼンテーション資料の作成			
第8回	8	プレゼン作成	PowerPoint プレゼンテーション資料の作成			
第9回	9	動画作成	PowerPoint フォトアルバム機能 動画作成			
第10回	10	作表とワークシートの操作	Excel オートフィルの復習、ワークシートの操作			
第11回	11	表の作成	Excel 予約表の作成			
第12回	12	差し込み印刷	Excel データベース機能 Word 差し込み印刷			
第13回	13	試験対策	Excel 試験対策			
第14回	14	期末試験	Excel 期末試験			
第15回	15	期末試験の解説	期末試験の解説			
初回持ち物	教科書、USBディスク、筆記用具					
成績評価方法	・出席率		定期試験		筆記試験	
	・定期試験や小テスト			○	実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	フレッシューズスキル			クラス名	Q2D	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	2年合計単位	2 単位
担当講師	宮崎 愛子					
	実務経験	-	老舗専門結婚式場へ勤務。新規から施行まで約400組の結婚式をプロデュース。 社会人経験で得た課題対応能力やキャリアプランニング能力を伝えていく。			
目的及び概要	1年後の就職を控え、社会人としての準備をしていく必要がある。「社会に出る前のメンタル強化」を目標にし、自身のストレスコントロール力、良好な人間関係の築き方、対人トラブルの対処法などを学ぶ。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・社会に出てから起こるさまざまな対人トラブルによる離職等を防ぐ ・グループワークを通じて協調性や発信力、傾聴力を鍛える ・様々なタイプの人間がいることを知り、それぞれに対応できる接客スキルを考える 					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし(適宜プリントを配布)					
<授業計画>	前期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	働くことの意味を考える	私たちはなぜ働くのか/マズローの欲求段階説			
第2回	2	アンガーマネジメント	「怒り」の感情の正体とは			
第3回	3		怒り感情のコントロール方法(自己理解)			
第4回	4		怒り感情との向き合い方・対処法(他者理解)			
第5回	5		クレーム対応/クレームの考え方			
第6回	6		そもそもストレスとは? ストレスの捉え方			
第7回	7	メンタルヘルス コントロール	ストレスの受け取り方/受け流し方を知っておこう			
第8回	8		幸せホルモンとセルフコントロール①			
第9回	9		幸せホルモンとセルフコントロール②			
第10回	10		自分だけのコーピングリストを作成しよう			
第11回	11		Highly Sensitive Personについて(HSP・HSS診断テスト)			
第12回	12	Highly Sensitive Personについて	HSS・HSPとの付き合い方、接し方①			
第13回	13		HSS・HSPとの付き合い方、接し方②			
第14回	14	試験	期末試験			
第15回	15	試験解説・まとめ	期末試験解説/FB			
初回持ち物	筆記用具					
成績評価方法	・出席率		定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	フレッシュヤーズスキル			クラス名	Q2D	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	2年合計単位	2 単位
担当講師	宮崎 愛子					
	実務経験	-	老舗専門結婚式場へ勤務。新規から施行まで約400組の結婚式をプロデュース。 社会人経験で得た課題対応能力やキャリアプランニング能力を伝えていく。			
目的及び概要	1年後の就職を控え、社会人としての準備をしていく必要がある。「社会に出る前のメンタル強化」を目標にし、自身のストレスコントロール力、良好な人間関係の築き方、対人トラブルの対処法などを学ぶ。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・社会に出てから起こるさまざまな対人トラブルによる離職等を防ぐ ・グループワークを通じて協調性や発信力、傾聴力を鍛える ・様々なタイプの人間がいることを知り、それぞれに対応できる接客スキルを考える 					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし(適宜プリントを配布)					
<授業計画>	後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	社会人への意識改革	学生と社会人の違い/社会人の評価基準			
第2回	2		信用と信頼/仕事を任せてもらえる人材になるために			
第3回	3	成果をあげる接客テクニック	価値基準からベネフィットの考え方を理解する			
第4回	4		傾聴力レッスン/ベネフィットを引き出すロールプレイング①			
第5回	5		傾聴力レッスン/ベネフィットを引き出すロールプレイング②			
第6回	6		SPIN話法で具体的なアプローチを知る			
第7回	7	アサーティブコミュニケーション	アサーティブの基本/自己表現タイプと心理的ポジション①			
第8回	8		アサーティブの基本/自己表現タイプと心理的ポジション②			
第9回	9	新入社員の自己紹介	第一印象の重要性「自己紹介の目的、ルール、伝えるべきこと」①			
第10回	10		第一印象の重要性「自己紹介の目的、ルール、伝えるべきこと」②			
第11回	11		相手の心に届く自己紹介を考えよう			
第12回	12		新社会人になった気持ちで自己紹介をしてみよう			
第13回	13	2年間の総まとめ	大切な人に"ありがとう"を伝える			
第14回	14	試験	後期 期末試験			
第15回	15	試験解説・まとめ	試験解説・まとめ			
初回持ち物	筆記用具					
成績評価方法	・出席率	定期試験	○		筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	就職ガイド			クラス名	Q2D	
1年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
2年単位	前期	1 単位	後期	-	2年合計単位	1 単位
担当講師	新山 和子					
	実務経験	-	人事教育担当として、企業の採用や学校等で就職活動についてセミナーを担当。新入社員研修の経験を活かして学生指導やサポートを行う。			
目的及び概要	就職活動に必要な知識の習得を行い実践で活かせるようにサポートします。また、社会人で必要な年間行事マナーを理解し、「働く」ことについて将来のキャリアデザインを考え、卒業後に備えます。					
到達目標	就職活動、社会人としての理解を深める					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	前期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	面接練習	就職活動進捗確認・面接練習			
第2回	2		面接練習			
第3回	3		面接練習			
第4回	4	一般常識	SPI・GAB対策			
第5回	5		適性検査・一般常識対策			
第6回	6	ディスカッション	グループディスカッション対策			
第7回	7		グループディスカッション練習			
第8回	8	社会人とは	新社会人に求められるもの			
第9回	9	ビジネスマナー	ビジネスマナーがなぜ必要か			
第10回	10	コミュニケーション	コミュニケーションの種類～ノンバーバル～			
第11回	11		コミュニケーションの種類～バーバル～			
第12回	12	サービス接遇	サービスマナー・慣用語			
第13回	13	働くことの意義	〇〇で働くことの意義			
第14回	14	期末テスト	期末テスト			
第15回	15	モチベーションコントロール	モチベーションアップから得られるもの			
初回持ち物	筆記用具・就職ファイル					
成績評価方法	・出席率		定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	イベントプロモーション			クラス名	Q2D	
1年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
2年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
担当講師	担任					
	実務経験	-	-			
目的及び概要	学校生活や学校行事を通して、人間関係を形成し学校での集団行動やチームワークなどを深める。 協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度をこの授業育てる。					
到達目標	就職活動、社会人としての理解を深める (Q2A: 金4限/Q2C: 金5限/Q2D: 金5限/Q2E: 金4限/Q2F: 水1限)					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	前期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	クラスコミュニケーション	クラス目標/個人目標/リーダー・サブ決め/SAM選出			
第2回	2		学校生活・補講について			
第3回	3		マシュマロチャレンジ			
第4回	4	スポーツ大会	スポーツ大会(実行委員決め/競技候補)			
第5回	5	避難訓練事前指導	避難訓練について(動画視聴)			
第6回	6	スポーツ大会	競技について話し合い(クラスTシャツ)			
第7回	7		出場競技決定			
第8回	8	コミュニケーション	クラスコミュニケーション			
第9回	9	FUSに向けて	FUSについて/FUS実行委員決め			
第10回	10	学園祭	学園祭について(実行委員決め/出し物候補)			
第11回	11		学園祭について(役割決め/作成物)			
第12回	12		学園祭について(役割決め/作成物)			
第13回	13	期末試験について	休みの過ごし方/期末試験について/夏季休業中の登校について			
第14回	14	行事準備	学園祭/スポーツ大会			
第15回	15	アンケート/振り返り	学校生活アンケート/前期振り返り			
初回持ち物	AIE/ノート、筆記用具					
成績評価方法	・出席率		定期試験	筆記試験		
	・定期試験や小テスト			○ 実技試験		
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	イベントプロモーション			クラス名	Q2D	
1年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
2年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
担当講師	担任					
	実務経験	-	-			
目的及び概要	学校生活や学校行事を通して、人間関係を形成し学校での集団行動やチームワークなどを深める。 協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度をこの授業育てる。					
到達目標	就職活動、社会人としての理解を深める					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	各目標決め	クラス目標/個人目標/リーダー・サブ決め			
第2回	2	学園祭	催し物について話し合い			
第3回	3	学園祭	企画書作成			
第4回	4	学園祭	概要決め			
第5回	5	学園祭	ルール説明			
第6回	6	FUS	演出について			
第7回	7	FUS	各クラステーマ・コンセプト決め			
第8回	8	スポーツ大会	概要説明			
第9回	9	スポーツ大会	出場競技決め			
第10回	10	スポーツ大会	ルール説明			
第11回	11	FUS	ウォーキングレッスン			
第12回	12	FUS	ウォーキングレッスン			
第13回	13	FUS	ウォーキングレッスン			
第14回	14	FUS	ウォーキングレッスン			
第15回	15	アンケート	学園生活アンケート			
初回持ち物	AIEノート、筆記用具					
成績評価方法	・出席率		定期試験	筆記試験		
	・定期試験や小テスト			実技試験		
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	皮膚科学			クラス名	Q2D	
1年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
2年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	2年合計単位	2 単位
担当講師	吉田 里子					
	実務経験	有	理系大学で有機化学専攻後、化粧品会社・エステサロンの実務経験を経てエステサロン・化粧品会社設立			
目的及び概要	1年でやった内容に加え、トラブル肌に関しての知識を高め、AEAに出る範囲の問題も習得すること					
到達目標	お客様へ説明できるような肌への知識を深め、検定の問題も合格点をを目指す					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	②皮膚科学					
<授業計画>	前期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	内臓と肌	内臓と肌			
第2回	2	血液循環と肌	血液循環と肌			
第3回	3	栄養と肌	栄養と肌			
第4回	4	生活習慣と肌	生活習慣と肌			
第5回	5	スキンケアと3章まとめ	スキンケアと3章まとめ			
第6回	6	肌の老化とケア	肌の老化とケア			
第7回	7	自然老化と種類	自然老化と種類			
第8回	8	シワ	シワの原因と手入れ			
第9回	9	しみ	しみの原因と手入れ			
第10回	10	その他の老化現象	その他の老化現象			
第11回	11	4章まとめ	4章まとめ			
第12回	12	センター試験問題集	センター試験問題集			
第13回	13	テストの話	テスト対策			
第14回	14	期末テスト	期末テスト			
第15回	15	返却	解説と後期の説明			
初回持ち物	教科書(②皮膚科学)					
成績評価方法	・出席率	定期試験	○	筆記試験		
	・定期試験や小テスト			実技試験		
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	皮膚科学			クラス名	Q2D	
1年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
2年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	2年合計単位	2 単位
担当講師	吉田 里子					
	実務経験	有	理系大学で有機化学専攻後、化粧品会社・エステサロンの実務経験を経てエステサロン・化粧品会社設立			
目的及び概要	1年でやった内容に加え、トラブル肌に関する知識を高め、AEAに出る範囲の問題も習得すること					
到達目標	お客様へ説明できるような肌への知識を深め、検定の問題も合格点をを目指す					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	②皮膚科学					
<授業計画>	後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	トラブル肌とは何か	Chapter5の導入・トラブル肌とは			
第2回	2	発疹の種類	湿疹・発疹の種類			
第3回	3	ニキビ	ニキビの正式名称と状態			
第4回	4	敏感肌	敏感肌の理由と対策			
第5回	5	接触皮膚炎	皮膚炎について			
第6回	6	アレルギー性疾患	アレルギーの種類と対策			
第7回	7	その他の皮膚疾患	感染性・非感染性疾患について			
第8回	8	まとめ	小問題			
第9回	9	センター試験問題集	1～74番の問題復習			
第10回	10	センター試験問題集	1～74番の問題復習			
第11回	11	センター試験問題集	1～74番の問題復習			
第12回	12	センター試験問題集	1～74番の問題復習			
第13回	13	テストの話	テスト対策			
第14回	14	期末テスト	期末テスト			
第15回	15	返却	解説と後期の説明			
初回持ち物	皮膚科学の教科書とノート					
成績評価方法	・出席率	定期試験	○	筆記試験		
	・定期試験や小テスト			実技試験		
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	化粧品学			クラス名	Q2D	
1年単位	前期	-	後期	1 単位	1年合計単位	1 単位
2年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	2年合計単位	2 単位
担当講師	吉田 里子					
	実務経験	有	理系大学で有機化学専攻後、化粧品会社・エステサロンの実務経験を経てエステサロン・化粧品会社設立			
目的及び概要	1年生前期の内容に加えて、ボディ用全般の化粧品や、成分についての知識を深めて説明できるようになる。					
到達目標	お客様に肌の知識に加え、合う化粧品の説明をできるようになること					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	⑤化粧品学					
<授業計画>	前期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	化粧品学とは	昨年の復習とボディ用品			
第2回	2	ボディ用品①	浴用料、ボディスキンケア			
第3回	3	ボディ用品②	スリミング剤、紫外線ケア			
第4回	4	ボディ用品②	制汗・防臭・脱毛剤・まとめ			
第5回	5	香料①	香りを必要とするか			
第6回	6	香料②	分類とその種類			
第7回	7	問題で演習	テスト対策			
第8回	8	問題集演習	テスト対策			
第9回	9	問題で演習	テスト対策			
第10回	10	化粧品の原料とは	化粧品の成分の分類			
第11回	11	油性原料	油性原料			
第12回	12	水性原料	水性原料			
第13回	13	その他の成分	期末テスト対策			
第14回	14	期末テスト	期末テスト			
第15回	15	返却	保湿剤について			
初回持ち物	1年生の時のノート、教科書(⑤化粧品学)					
成績評価方法	・出席率	定期試験	○	筆記試験		
	・定期試験や小テスト			実技試験		
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	化粧品学			クラス名	Q2D	
1年単位	前期	-	後期	1 単位	1年合計単位	1 単位
2年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	2年合計単位	2 単位
担当講師	吉田 里子					
	実務経験	有	理系大学で有機化学専攻後、化粧品会社・エステサロンの実務経験を経てエステサロン・化粧品会社設立			
目的及び概要	化粧品の構成成分についての知識を深めて、説明できるようになる。					
到達目標	お客様に肌の知識に加え、合う化粧品の説明をできるようになること。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	⑤化粧品学					
<授業計画>	後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	植物抽出エキス	自然成分とは			
第2回	2	界面活性剤	乳化と品質維持			
第3回	3	着色料	色材について			
第4回	4	その他の成分	粘度調整、成型成分			
第5回	5	薬剤①	効果の認められる成分			
第6回	6	薬剤②	特定の効果成分と配合			
第7回	7	問題で演習	テスト対策			
第8回	8	問題集演習	テスト対策			
第9回	9	問題で演習	テスト対策			
第10回	10	販売練習	ケースバイスタディ			
第11回	11	販売練習	ケースバイスタディ			
第12回	12	デモンストレーション	専門用語を使わない基礎化粧品説明			
第13回	13	デモンストレーション	品数多く購入するトーク&メイク用品演習			
第14回	14	期末テスト	期末テスト			
第15回	15	返却	化粧品学まとめ			
初回持ち物	ノート、教科書(化粧品学)					
成績評価方法	・出席率	定期試験	○	筆記試験		
	・定期試験や小テスト			実技試験		
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	サロンマネジメント&法規			クラス名	Q2D	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	-	後期	1 単位	2年合計単位	1 単位
担当講師	吉田 里子					
	実務経験	有	理系大学で有機化学専攻後、化粧品会社・エステサロンの実務経験を経てエステサロン・化粧品会社設立			
目的及び概要	会社の経営と接客方針に対して学び、法律を理解すること					
到達目標	社会の常識と法律を学ぶことで、接客業で生かせるようにすることと、検定も合格すること					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	サロンマネジメント&法規					
<授業計画>	後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	サロンの経営とは	業界の役割			
第2回	2	やりがいのある仕事とは	美容の業務・内容			
第3回	3	サロン業務	クレーム対応とサービス業			
第4回	4	能力評価	経営者と雇用される側			
第5回	5	業界の成長	業界の発展・問題集			
第6回	6	法律関連の話	関連法規とは何か			
第7回	7	施術に関する法律	施術・化粧品・食品に関する法律			
第8回	8	契約と民法	消費者基本法・契約法			
第9回	9	特定商取引とは	特定商取引とは			
第10回	10	分割払いとクレジット	分割について・支払方法・キャッシュレス			
第11回	11	個人情報保護法	会社の守るべきもの&個人のSNS運用			
第12回	12	自主基準とは	国家資格でない法律の基準について			
第13回	13	問題集	テスト対策			
第14回	14	テスト	期末テスト			
第15回	15	返却	解説とまとめ			
初回持ち物	サロンマネジメント&法規の教科書					
成績評価方法	・出席率	定期試験	○	筆記試験		
	・定期試験や小テスト			実技試験		
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	販売心理学			クラス名	Q2D	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	-	後期	2 単位	2年合計単位	2 単位
担当講師	吉田 里子					
	実務経験	有	理系大学で有機化学専攻後、化粧品会社・エステサロンの実務経験を経てエステサロン・化粧品会社設立			
目的及び概要	自分が大切にしたいお客様に満足していただくということは、どういうことでしょうか。お客様の心理を学び、素敵な接客ができるようになることが目的です。					
到達目標	将来、経営者の心理も理解し、人気のある素敵なビューティーアドバイザーになる第一歩が目標となります。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1・2	導入	販売心理学とは・接客に必要なもの			
第2回	3・4	常識とは	満足と不満足・常識と非常識			
第3回	5・6	小物と心理	財布の持つ価値観と開け方			
第4回	7・8	色の歴史	色によるイメージ支配とコントロール			
第5回	9・10	季節の売り上げ	季節と限定商品			
第6回	11・12	女性脳・男性脳	女性脳と男性脳の購買意欲の違い			
第7回	13・14	経営者の考え方	求人と店のアニュアル・正社員について			
第8回	15・16	業の基本・ディスプレイについて	儲かる店の法則とは			
第9回	17・28	説得から納得へのトーク	評判は他人目線・話し方で売り上げは変わる			
第10回	29・20	人間観察	自分をどう見せるか・見られるか			
第11回	21・22	プレゼンテーション	クロージングの仕方・コスパ			
第12回	23・24	プレゼンテーション実演	好きなものをクラスメイトに紹介する①			
第13回	25・26	プレゼンテーション実演	好きなものをクラスメイトに紹介する②			
第14回	27・28	期末試験	テスト			
第15回	29・30	解説とまとめ	返却と説明			
初回持ち物	ノートかルーズリーフ					
成績評価方法	・出席率	定期試験	○	筆記試験		
	・定期試験や小テスト			実技試験		
	・授業参加意欲		○	課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	ブランド			クラス名	Q2D	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	1 単位	後期	-	2年合計単位	1 単位
担当講師	根本 夏味					
	実務経験	有	日本メイクアップ技術検定取得 美容部員の経験を活かし、接客方法やメイクの基礎からトレンドメイクなどの幅広いメイク技術を伝えていく。			
目的及び概要	化粧品ブランドの歴史を学び、知識を身に付ける事でメイク業界への知識を深め、実技や就職活動に活かす事を目的とします。					
到達目標	化粧品ブランドの種類・歴史を理解する。また、ブランド別のメイクの特徴や違いを理解し就職後に活かせる知識を習得。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	前期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	ブランドの歴史	ブランドの種類やチャネルの紹介			
第2回	2	ブランドの歴史	国産ブランドの歴史や特徴について①			
第3回	3	ブランドの歴史	外資ブランドの歴史や特徴について①			
第4回	4	ブランドの歴史	イメージ別ブランドの歴史や特徴について(キュート・フェミニン)			
第5回	5	ブランドの歴史	イメージ別ブランドの歴史や特徴について(クール・モード)			
第6回	6	ブランド紹介	ファッション展開のあるブランドについて			
第7回	7	ブランドの歴史	国産ブランドの歴史や特徴について②			
第8回	8	ブランドの歴史	外資ブランドの歴史や特徴について②			
第9回	9	ブランド研究	学んだブランドの中で自分にあったブランドを探す・レポート作成			
第10回	10	メイクデッサン	ブランドを選択しメイクデッサン・ペアのメイクをプロデュース			
第11回	11	プロデュースメイク	デッサンを元に相モデルでメイク			
第12回	12	グループワーク①	ディスカッション			
第13回	13	グループワーク②	ディスカッション			
第14回	14	期末テスト	知識確認の筆記テスト			
第15回	15	総まとめ	今までの授業を参考にレポート作り・発表			
初回持ち物	筆記用具					
成績評価方法	・出席率	定期試験	○	筆記試験		
	・定期試験や小テスト			実技試験		
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	メイク			クラス名	Q2D	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	3 単位	後期	3 単位	2年合計単位	6 単位
担当講師	ist (杉山 智明 ・ 森田 茉凜)					
	実務経験	有	化粧品ブランドのメイクアップアーティストチームでの活動経験を活かし、基礎的なメイクから実践、撮影にも対応するメイクの指導をすることができる。			
目的及び概要	決められた時間内に骨格に合わせたメイクを施せるよう、よりパーソナルなアドバイスを。作品作りに必要な技術力や知識、ヘアアレンジを学びます。					
到達目標	知識、技術のクオリティを上げ、コミュニケーション、提案力を高める。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	前期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1-3	ベースメイク	自然肌の作り方、チーク、ハイライト、シェーディング			
第2回	4-6	アイブロウ	曲線、直線、骨格に合わせた眉の描き方			
第3回	7-9	曲線メイク	丸みや曲線を活かし可愛い印象のメイク実習			
第4回	10-12	直線メイク	角や直線を活かしクールな印象のメイク実習			
第5回	13-15	イエベメイク	イエローベースカラーを使ったメイク、印象の違い			
第6回	16-18	ブルベメイク	ブルーベースカラーを使ったメイク、印象の違い			
第7回	19-21	美人コンパス	美人コンパスの測定、イメージに合わせたデザインシート作成			
第8回	22-24	美人コンパス、似合わせメイク	判定結果に合わせた似合わせメイク実践			
第9回	25-27	テーマに合わせたオリジナルメイク	イメージ決め、デザインシート、ポイントメイク練習			
第10回	28-30	テーマに合わせたオリジナルメイク	相モデルでメイク、イメージ発表			
第11回	31-33	オルチャンメイク	韓国メイクのポイントを学び実践			
第12回	34-36	チャイボーグメイク	中国メイクのポイントを学び実践			
第13回	37-39	スワイメイク	タイメイクのポイントを学び実践			
第14回	40-42	期末テスト練習(テーマ指定)	韓国、中国、タイメイクのどれか練習			
第15回	43-45	期末テスト	韓国、中国、タイメイクの中から1つ出題			
初回持ち物	メイクボックス一式					
成績評価方法	・出席率		定期試験	筆記試験		
	・定期試験や小テスト			○ 実技試験		
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	メイク			クラス名	Q2D	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	3 単位	後期	3 単位	2年合計単位	6 単位
担当講師	ist (杉山 智明 ・ 森田 茉凜)					
	実務経験	有	化粧品ブランドのメイクアップアーティストチームでの活動経験を活かし、基礎的なメイクから実践、撮影にも対応するメイクの指導をすることができる。			
目的及び概要	決められた時間内に骨格に合わせたメイクを施せるよう、よりパーソナルなアドバイスを。作品作りに必要な技術力や知識、ヘアアレンジを学びます。					
到達目標	知識、技術のクオリティを上げ、コミュニケーション、提案力を高める。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1-3	アイドルメイク	日本のアイドルメイクの特徴を学ぶ			
第2回	4-6	クリエイティブメイク、HMコンテスト	クリエイティブメイクについて、イメージ考案、メイク練習			
第3回	7-9	HMコンテスト	メイク練習			
第4回	10-12	ハロウィンヘアメイク	カトリーナメイクで仮装して写真撮影			
第5回	13-15	※HMコンテスト	外部HMコンテスト参加			
第6回	16-18	年代メイクの流れ50年代ヘアメイク	マリリンモンローメイク			
第7回	19-21	60年代ヘアメイクメイク	ツイッギーメイク			
第8回	22-24	80年代ヘアメイクメイク	バブリーメイク			
第9回	25-27	2000年ヘアメイク代メイク	ギャルメイク			
第10回	28-30	CATSメイク	舞台メイク			
第11回	31-33	雑誌分析	雑誌のリサーチ、デザイン作成、分析の内容について			
第12回	34-36	雑誌分析	相モデル実技、撮影			
第13回	37-39	期末テスト練習	ヘアメイクイメージ構成 ウィッグヘアメイクコンテスト			
第14回	40-42	期末テスト	【ウィッグヘアメイクコンテスト】			
第15回	43-45	クリエイティブメイク	コンテスト結果発表 キャラクターメイク			
初回持ち物	ヘアメイク道具一式、筆記用具、ノート					
成績評価方法	・出席率		定期試験	筆記試験		
	・定期試験や小テスト			○ 実技試験		
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	ヘアアレンジ			クラス名	Q2D	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	3 単位	後期	3 単位	2年合計単位	6 単位
担当講師	ist (杉山 智明 ・ 森田 茉凜)					
	実務経験	有	化粧品ブランドのメイクアップアーティストチームでの活動経験を活かし、基礎的なメイクから実践、撮影にも対応するメイクの指導をすることができる。			
目的及び概要	1年次のヘアアレンジの基礎の復習とレベルアップを目指した応用					
到達目標	基礎技術の確認・モデルの希望に沿ったスタイル制作					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	前 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1-3	スパイラル巻き	18mmのコテを使用した巻き方(ウィッグ、相モデル)			
第2回	4-6	コテ巻きの見え方の違い	外巻き、内巻きの巻き方での見え方の違い(ウィッグ)			
第3回	7-9	ウェーブ巻き、ヨシンモリ	32mmのコテを使用した巻き方(ウィッグ、相モデル)			
第4回	10-12	編み込みアレンジ	ローブ編み、編み込み、編み下ろし(ウィッグ、相モデル)			
第5回	13-15	シニヨン	ふんわり系(ウィッグ、相モデル)			
第6回	16-18	シニヨン	タイト系(ウィッグ、相モデル)			
第7回	19-21	簡単ヘアアレンジ3パターン	コテやピンを使用単ヘアアレンジ(ウィッグ、相モデル)			
第8回	22-24	ブロー	現場で必要となるブローテクニックの練習(ウィッグ、相モデル)			
第9回	25-27	ブライダルヘア	着たいドレスを調べてそれに合うヘアアレンジ(相モデル)			
第10回	28-30	ブライダルヘア	お色直しのヘアアレンジ(相モデル)			
第11回	31-33	ブライダルヘア	挙式スタイル〜カラードレスへのヘアチェンジ(相モデル)			
第12回	34-36	フィンガーウェーブ	32mmコテを使用したフィンガーウェーブ(ウィッグ)			
第13回	37-39	アップスタイルアレンジ	ふんわり系、タイト系(ウィッグ)			
第14回	40-42	期末テスト練習(テーマ指定)	テーマに合わせてヘアアレンジを考え練習(相モデル)			
第15回	43-45	期末テスト	指定したテーマに合わせてヘアアレンジ(相モデル)			
初回持ち物	ヘア道具一式					
成績評価方法	・出席率		定期試験		筆記試験	
	・定期試験や小テスト			○	実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	ヘアアレンジ			クラス名	Q2D	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	3 単位	後期	3 単位	2年合計単位	6 単位
担当講師	ist (杉山 智明 ・ 森田 茉凜)					
	実務経験	有	化粧品ブランドのメイクアップアーティストチームでの活動経験を活かし、基礎的なメイクから実践、撮影にも対応するメイクの指導をすることができる。			
目的及び概要	前期のヘアアレンジの基礎の復習とレベルアップを目指した応用					
到達目標	基礎技術の確認・モデルの希望に沿ったスタイル制作					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1-3	アイドルヘア	アイドルがやっているヘアを練習(ウィッグ、相モデル)			
第2回	4-6	ヘアアレンジ・ヘアアシスタントの仕事	3人1組でヘアアレンジをしながらアシスタントの役割を学ぶ			
第3回	7-9	和装ヘアアレンジ	和装ヘアの構成を学ぶ			
第4回	10-12	ハロウィンヘアメイク	カトリナメイクのデザイン作成、メイクに合わせたヘアアレンジ			
第5回	13-15	※HMコンテスト	HMコンテスト参加			
第6回	16-18	和装ヘアアレンジ	和装ヘアの構成を学ぶ			
第7回	19-21	コーンロウ	コーンロウのやり方、アレンジスタイル			
第8回	22-24	盛り髪	逆毛+盛り髪(ウィッグ)			
第9回	25-27	盛り髪	逆毛+盛り髪(ウィッグ、相モデル)			
第10回	28-30	推し活ヘアアレンジ	推し活のヘアアレンジを学ぶ			
第11回	31-33	期末テスト	ヘアアレンジの動画作成を行う			
第12回	34-36	期末テスト	ヘアアレンジの動画撮影・動画編集			
第13回	37-39	ウィッグ制作	ヘアメイクイメージ構成 ウィッグヘアメイクコンテスト			
第14回	40-42	ウィッグ制作	【ウィッグヘアメイクコンテスト】			
第15回	43-45	似合わせヘアアレンジ	モデルに合わせたヘアアレンジ			
初回持ち物	ウィッグ・コーム・ブラシ類・タオル3枚、ダッカー4本、前髪ピン、シラバス、ノート、筆記用具					
成績評価方法	・出席率		定期試験	筆記試験		
	・定期試験や小テスト			○ 実技試験		
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)	出席率	定期試験		平常点		
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	メイク検定対策			クラス名	Q2D	
1年単位	前期	-	後期	4 単位	1年合計単位	4 単位
2年単位	前期	6 単位	後期	-	2年合計単位	6 単位
担当講師	羽鳥 美保					
	実務経験	有	メイクアップアーティスト・美容部員・ファッションコレクションなどのバックヤードなどのメイクアップの経験を踏まえ、カウンセリングやメイクアップの基本と応用・コミュニケーション力を伝えていく			
目的及び概要	JMA(メイク検定)1級合格に向けて学習 イメージメイクアップの技術はもちろん、お客様やモデルのご要望やなりたたいイメージをカウンセリングにて引き出し、顔分析を行いイメージに仕上げる為のメイクポイントなどアドバイスできるように学習する					
到達目標	JMA検定1級合格を目指し、これから社会へ出ることを念頭に、コミュニケーション力のある信頼される美容部員、メイクアップアーティストになることが目標					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	JMA1級テキスト・プリント配布					
<授業計画>	前期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1-6	イメージメイク理論・顔分析・メイクテクニック	JMA1級について・印象分析・顔のバランス分析・視覚効果/メイクテクニック			
第2回	7-12	顔分析2・メイクアップカウンセリング	顔分析と印象分析2・メイクカウンセリングとスキンケア応用・修正メイクテクニック			
第3回	13-18	イメージメイク理論・キョウトメイク	4つのイメージメイク理論/顔分析・キョウトメイクデザイン・アドバイスシート作成と実習			
第4回	19-24	フレッシュメイク	フレッシュメイクデザインシート作成・カウンセリング～顔分析～イメージメイクアップ実習			
第5回	25-30	エレガントメイク	エレガントメイクデザインシート作成・カウンセリング～顔分析～イメージメイクアップ実習			
第6回	31-36	クールメイク	クールメイクデザインシート作成・カウンセリング～顔分析～イメージメイクアップ実習			
第7回	37-42	修正メイクポイントとメイクの強弱	修正メイクとメイクの強弱実習/カウンセリング & アドバイスシート記入ポイント			
第8回	43-48	事前審査までテスト	セッティング～スキンケア～カウンセリングシート・ポイントメイク実習			
第9回	49-54	JMA1級検定対策	タイムトライアル トータルイメージメイク実習1.2			
第10回	55-60	JMA1級検定対策	タイムトライアル トータルイメージメイク実習3.4			
第11回	61-66	JMA1級検定対策	タイムトライアル トータルイメージメイク実習5.6			
第12回	67-72	JMA1級検定対策	タイムトライアル トータルイメージメイク実習7.8			
第13回	73-78	期末試験	期末試験<JMA1級期末試験>			
第14回	79-84	JMA1級検定対策	1級通し模擬			
第15回	85-90	JMA1級検定試験	JMA1級検定試験			
初回持ち物	JMA1級テキスト、3・2級テキスト、検定用メイク道具一式、15cm定規、無地ノートorルーズリーフ、付箋用紙(メッセージが記入できるサイズ)、筆記用具、A4クリップボード(バインダー)					
成績評価方法	・出席率	定期試験		筆記試験		
	・定期試験や小テスト		○	実技試験		
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)	出席率	定期試験		平常点		
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

シラバス(授業内容)						
科目名	スタジオ撮影プロジェクト			クラス名	Q2D	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	5 単位	後期	5 単位	2年合計単位	10 単位
担当講師	根本 夏味・吉永 由					
	実務経験	有	日本メイクアップ技術検定取得 美容部員の経験を活かし、接客方法やメイクの基礎からトレンドメイクなどの幅広いメイク技術を伝えていく。			
目的及び概要	作成した作品をコンテストへ出品することを目標としています。作品を作る過程を実践的に学び、撮影フローまで自ら考えることによって自主的に動ける人材になることが目的です。					
到達目標	テーマに合ったヘア、メイク、ファッションのトータルイメージのバランスを考えコンテスト出品作品を完成させる。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	前期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1-5	業界について学ぶ	業界の仕事 ジャンルについての検証 トレース			
第2回	6-10	世界観を知る① 作品	デッサン方法 練習			
第3回	11-15	世界観を知る② 映像	ラグゼ過去の受賞作品/ペイント			
第4回	16-20	世界観を知る② ショー	ショーメイク、つけまつげ・ウィッグ			
第5回	21-25	クリエイティブメイク①	星座モチーフHM+撮影			
第6回	26-30	コンセプトシート作成	メイク・ファッション ラグゼコンセプトシート作成			
第7回	31-35	ファッションデッサン	メイク・ファッション ラグゼコンセプトシート完成			
第8回	36-40	メイク練習	相モデルでメイク練習			
第9回	41-45	ヘア練習	相モデルでヘア練習 (ファッション制作物考案 ヘッドアクセ)			
第10回	46-50	装飾品制作①	基本の針の使い方 製作 背景紙決定			
第11回	51-55	装飾品制作②	制作物作成			
第12回	56-60	タイムスケジュール作成	ポージング、ライティング、当日の流れについてとモデル発表			
第13回	61-65	自由練習	各自練習 最終チェック			
第14回	66-70	期末テスト①	9/10 ラグゼHMリハ(前半)			
第15回	71-75	期末テスト②	9/11 ラグゼHMリハ(後半)			
初回持ち物	筆記用具・1年時のメイクノート					
成績評価方法	・出席率		定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

シラバス(授業内容)						
科目名	スタジオ撮影プロジェクト			クラス名	Q2D	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	5 単位	後期	5 単位	2年合計単位	10 単位
担当講師	根本 夏味・吉永 由					
	実務経験	有	日本メイクアップ技術検定取得 美容部員の経験を活かし、接客方法やメイクの基礎からトレンドメイクなどの幅広いメイク技術を伝えていく。			
目的及び概要	作成した作品をコンテストへ出品することを目標としています。作品を作る過程を実践的に学び、撮影フローまで自ら考えることによって自主的に動ける人材になることが目的です。					
到達目標	テーマに合ったヘア、メイク、ファッションのトータルイメージのバランスを考えコンテスト出品作品を完成させる。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1-5	ラグゼ作品セレクト	ITルームにて作品セレクト、反省 学園祭に向けて			
第2回	6-10	学園祭①	デッサン、デザイン考案			
第3回	11-15	学園祭②	製作、練習			
第4回	16-20	学園祭③	製作、練習			
第5回	21-25	学園祭④	製作、練習			
第6回	26-30	卒業制作①	学園祭反省、卒業制作考案			
第7回	31-35	卒業制作②	HM練習+制作			
第8回	36-40	卒業制作③	製作、練習			
第9回	41-45	卒業制作④	リハーサル①			
第10回	46-50	卒業制作⑤	リハーサル②			
第11回	51-55	卒業制作⑥	製作、練習			
第12回	56-60	卒業制作⑦	製作、練習			
第13回	61-65	作品セレクト+日本のメイク	ITルームにて作品セレクト、反省			
第14回	66-70	クリエイティブメイク	デザイン性のあるメイク			
第15回	71-75	ギャルメイク	年代別ギャルHM			
初回持ち物	ヘアメイク道具一式、筆記用具、メイクノート					
成績評価方法	・出席率		定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

シラバス(授業内容)						
科目名	ショー&コンテスト講座			クラス名	Q2D	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	-	後期	1 単位	2年合計単位	1 単位
担当講師	篠あけみ					
	実務経験	有	パリ・コレクションを始め様々なコレクションへ出演。モデルスクールで後進の指導にあたるほか、一般企業向けのファッションショーのプロデュースや、一般人向けのセミナー等の活動もを行っている。			
目的及び概要	各会社の中でのイメージアップ 女性としての知識力向上ときれいな立ち振る舞い					
到達目標	責任感と達成感					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	知識	ファッションの成り立ち きれいに覚えて健康的な体の使い方・姿勢等			
第2回	2					
第3回	3					
第4回	4	センス	撮影のためのドレス選び 白物または色物どちらか1点			
第5回	5					
第6回	6					
第7回	7	対応力	ドレス撮影 撮影をする時のきれいに見えるコツなど			
第8回	8					
第9回	9					
第10回	10	状況把握力	椅子の座り方 ジャケット・コート正しい脱ぎ方・たたみ方 ウォーキング			
第11回	11					
第12回	12					
第13回	13	持続力	筆記試験 実技試験 ウォーキング			
第14回	14					
第15回	15					
初回持ち物	ノート、ペン					
成績評価方法	・出席率		定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

シラバス(授業内容)						
科目名	メイクカウンセリング			クラス名	Q2D	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	-	後期	2 単位	2年合計単位	2 単位
担当講師	富田里恵子					
	実務経験	有	認定メイクセラピストとして、個人及び企業向けに印象アップのメイク術を伝えている。メイクセラピー検定1級の知識と技術を、学生の成長と可能性を支援するマインドで指導する。			
目的及び概要	メイクセラピーの学びを通じ、カウンセリングにおいて必要なクライアントとの接し方、基本姿勢とマナーを身につける。受容的態度と傾聴スキルのトレーニングで受け手の心理的な援助ができるようなカウンセリングマインドを育て、錯視効果や色彩理論を用いたメイク技術の向上を目指す。					
到達目標	相手との信頼関係を築ける温かみのあるコミュニケーションスキルと、要望を引き出すカウンセリングにおける基本姿勢、印象を理論的に分析して必要なメイクを提供できるメイク技術を強化する。メイクセラピー検定1級に合格する。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1・2	オリエンテーション	2級の復習・1級検定について・カウンセリングの流れ			
第2回	3・4	カウンセリング実習	ラポールの構築・傾聴トレーニング①			
第3回	5・6					
第4回	7・8	カウンセリング+メイク実習	傾聴トレーニング②・メイク実習			
第5回	9・10	カウンセリング+メイク実習	傾聴トレーニング③・メイク実習			
第6回	11・12	筆記対策①	事例研究・論述問題			
第7回	13・14	筆記対策②	事例研究・論述問題			
第8回	15・16	検定対策①	筆記練習・メイク模擬(パターン1)・マナー対策			
第9回	17・28					
第10回	29・20	検定対策②	筆記練習・メイク模擬(パターン2)・マナー対策			
第11回	21・22					
第12回	23・24	検定対策③	筆記練習・メイク模擬(パターン3)・マナー対策			
第13回	25・26					
第14回	27・28	メイクセラピー検定1級試験	筆記試験・実技試験			
第15回	29・30	メイクセラピー検定1級試験	筆記試験・実技試験			
初回持ち物	テキスト・筆記用具・メイク道具一式					
成績評価方法	・出席率		定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)						
科目名	和装着付け			クラス名	Q2D	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	3 単位	後期	-	2年合計単位	3 単位
担当講師	浅岡 久美・吉永 由					
	実務経験	有	ヘアメイクアップアーティスト、着付け師の立場から、撮影、ブライダル、スタジオでの経験をふまえ、ヘアアレンジと着付けの基本を伝える。			
目的及び概要	浴衣の着付けを基礎から学び、最終はモデルに施すことと浴衣に合わせたヘアメイクを施し和装のコーディネートを学びます。					
到達目標	和装の着付けを他人にも自分にもできるようになり、和装のヘアメイクの提案ができるようになる。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	前期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1-3	着物の基礎知識	小物について、着物の部位、たたみ方など			
第2回	4-6	浴衣の着付け1	相モデルで浴衣の着せ方			
第3回	7-9	浴衣の着付け2	相モデルで浴衣の着せ方			
第4回	10-12	浴衣自装1	自分で着る方法			
第5回	13-15	浴衣自装2、ヘアアレンジ1	復習、ウィッグでヘアアレンジ			
第6回	16-18	ヘアアレンジ2	相モデルで浴衣向けのヘアアレンジ			
第7回	19-21	夜会1	基本のアップスタイル			
第8回	22-24	夜会2	基本のアップスタイル			
第9回	25-27	期末テストに向けて	ヘアメイクイメージ画制作、着付け練習			
第10回	28-30	期末テスト練習1	着付けヘアメイク練習			
第11回	31-33	期末テスト練習2	着付けヘアメイク練習			
第12回	34-36	期末テスト1	相モデルにて浴衣着付け、ヘアメイク			
第13回	37-39	期末テスト2	相モデルにて浴衣着付け、ヘアメイク			
第14回	40-42	和装ブライダル、白塗り	和装ブライダルについて、白塗りの手順			
第15回	43-45	テーマ別ヘアメイク	和をテーマにヘアメイク			
初回持ち物	タオル2枚(補正用なので色は自由)					
成績評価方法	・出席率		定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

シラバス(授業内容)						
科目名	パーソナルカラー検定対策			クラス名	Q2D	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	-	後期	2 単位	2年合計単位	2 単位
担当講師	色彩活用研究所(株) 黒川裕子					
	実務経験	有		色彩やパーソナルカラーを教える講師として、各種専門学校やセミナーなどで、楽しく実践的にを大切に数多くの講座を担当している。色彩検定では奨励賞を受賞するなど実績を積んでいる。		
目的及び概要	美容業界で注目されている「パーソナルカラー(似合う色)」について総合的に学びます。自分の似合う色を通して、自分らしい魅力を確認していきます。パーソナルカラーの探し方や活かし方、自分で似合う色を選べるための色彩の基本を座学とカラーワーク演習などで身に付けていきます。検定対策として、適宜問題集や小テスト(解説あり)を実施し理解度の確認をしていきます。					
到達目標	色彩活用パーソナルカラー検定3級取得を目指す。 色彩の基本、パーソナルカラーの技術を身につけ、美容業界で生かせるようになる。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1・2	オリエンテーション 色彩の基本①	パーソナルカラーを学ぶ意義 パーソナルカラーとは何か。色の三属性			
第2回	3・4	色彩の基本②	トーン			
第3回	5・6	パーソナルカラーの色分類①	パーソナルカラーの色分類、各タイプの色の特徴について			
第4回	7・8	パーソナルカラーの色分類②	パーソナルカラーの色分類、各タイプの色の特徴について			
第5回	9・10	色名・色素とは	色名、色素について			
第6回	11・12	色素と似合う色の関係①	色素の見方①			
第7回	13・14	色素と似合う色の関係②	色素の見方②・まとめ(自分の色素を知る)			
第8回	15・16	似合う色と似合わない色	似合う色と似合わない色の見え方、色と光の関係			
第9回	17・28	ドレーピング実習	ドレーピング実習			
第10回	29・20	似合う色の見え方の理由	客観的な見え方について(対比・同化、面積効果)			
第11回	21・22	似合う色の取入れ方	似合う色の取入れ方、ポイント			
第12回	23・24	検定対策①	期末テスト、検定に向けて総まとめ①			
第13回	25・26	検定対策②	期末テスト、検定に向けて総まとめ②			
第14回	27・28	期末テスト	期末テスト			
第15回	29・30	期末テスト返却・振り返り	返却・振り返り・検定対策			
初回持ち物	色彩活用パーソナルカラー検定公式テキスト3級、公式問題集 新配色カード199b、新配色カード199用演習用台紙(通称:トーンマップ)、はさみ、のり、筆記用具、ノート類					
成績評価方法	・出席率		定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)						
科目名	化粧品検定			クラス名	Q2D	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	-	後期	1 単位	2年合計単位	1 単位
担当講師	担当職員					
	実務経験	有	日本化粧品検定協会コスメコンシェルジュインストラクター資格取得。 美容師としての実務経験を活かし美容の知識を幅広く指導し、化粧品検定合格への道			
目的及び概要	化粧品検定の資格取得を通じて、美容の奥深さと楽しさを知り、より美容に詳しいカウンセリングができる美容クリエイターの育成サポート					
到達目標	日本化粧品検定2級 取得					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	テキスト					
<授業計画>	後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	美容皮膚科学	皮膚構造としくみ P52～67			
第2回	2	美容皮膚科学	皮膚構造としくみ P52～67			
第3回	3	美容皮膚科学 肌の手入れと正しい知識	皮膚構造としくみ P52～67 P72～			
第4回	4	美容皮膚科学 肌の手入れと正しい知識	皮膚構造としくみ P52～67 P72～			
第5回	5	肌の手入れと 正しい知識	肌タイプと見分け方～ P～93			
第6回	6	肌の手入れと 正しい知識	肌タイプと見分け方～ P～93			
第7回	7	紫外線が肌に与える影響 美肌・美ボディへの対策	紫外線が肌に与える影響 P120～ 美肌・美ボディへの対策P112～119 P126～137			
第8回	8	紫外線が肌に与える影響 美肌・美ボディへの対策	紫外線が肌に与える影響 P120～ 美肌・美ボディへの対策P112～119 P126～137			
第9回	9	メイクアップの 基本テクニックP.94～	P94～107 試験ポイント			
第10回	10	メイクアップの 基本テクニックP.94～	P94～107 試験ポイント			
第11回	11	期末テスト	模擬試験			
第12回	12	期末テスト	模擬試験			
第13回	13	テスト返却・答え合わせ	解説と検定対策(おさらい)			
第14回	14	テスト返却・答え合わせ 検定対策	解説と検定対策(おさらい)			
第15回	15	検定本番	日本化粧品検定2級 受験			
初回持ち物	2級・3級対策テキスト 問題集 手鏡(毎回持参) メイクアップ講座の際には手持ちのメイク道具					
成績評価方法	・出席率	定期試験	○		筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)	出席率	定期試験		平常点		
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

シラバス(授業内容)						
科目名	カラーデコレート			クラス名	Q2D	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	-	後期	2 単位	2年合計単位	2 単位
担当講師	岡永めぐみ					
	実務経験	有	パーソナルカラーや色彩心理を使ったカウンセリング、色彩検定等、カラーに関する資格を複数所有する。			
目的及び概要						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・混色の理論が分かる ・パーソナルカラーのベースカラーから似合う配色を理解することが出来る ・季節・イメージ・シーン別に合ったネイルを提案することが出来る 					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1・2	色彩基本用語の復習	色彩用語の基本的知識の復習			
第2回	3・4	配色1	色相から配色を考える			
第3回	5・6	配色2	トーンから配色を考える			
第4回	7・8	アンダートーンを知る	パーソナルカラーの知識をもとにアンダートーンの違いを理解する			
第5回	9・10	配色3	アンダートーンをもとに配色を考える			
第6回	11・12	配色4	イメージ別に配色を考える1			
第7回	13・14	配色5	イメージ別に配色を考える2			
第8回	15・16	色彩心理1	色彩心理をもとにシーン別配色を考える1			
第9回	17・28	色彩心理2	色彩心理をもとにシーン別配色を考える2			
第10回	29・20	混色1	色相環やトーン図を用いて混色を学ぶ			
第11回	21・22	混色2	自分の思い描く色、また指示された色を絵具を用いて作る			
第12回	23・24	配色6	季節(イベント)をもとに配色する			
第13回	25・26	試験	試験			
第14回	27・28	試験返却	試験の返却と解説			
第15回	29・30	課題別配色	課題をもとに配色を考える			
初回持ち物	筆記用具、カラーカード199、はさみ、のり、ノート(配色をするときにカラーカードを貼る用のノート、大きさなどは自由)					
成績評価方法	出席率	定期試験	○	筆記試験		
	定期試験や小テスト			実技試験		
	授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)	出席率	定期試験		平常点		
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	資格選択授業 ネイル検定			クラス名	Q2D	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	3 単位	後期	-	2年合計単位	3 単位
担当講師	内山美代志・益子結花					
	実務経験	有				
目的及び概要	幅広い分野で活躍できるよう総合美容を目指しネイル技術を学習する。 主流となっているジェルネイルの知識と技術を習得し資格取得を目指します。					
到達目標	NPO法人日本ネイリスト協会ジェル検定技能試験初級合格					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	前 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1-3	ジェル理論	ジェル理論・検定要項確認			
第2回	4-6	ジェルカラーリング	プレパレーション・カラーリング			
第3回	7-9		ジェルオフ			
第4回	10-12		カラーリング			
第5回	13-15	アート	ピーコックアート			
第6回	16-18	ケア・カラーリング	ケア・ポリッシュカラーリング			
第7回	19-21		ケア・ポリッシュカラーリング			
第8回	22-24	ジェルカラーリング	カラーリング			
第9回	25-27		カラーリング			
第10回	28-30	総合トレーニング	タイムトライアル			
第11回	31-33		タイムトライアル			
第12回	34-36		タイムトライアル			
第13回	37-39		タイムトライアル			
第14回	40-42	ジェルカラーリング	赤以外のカラーリング			
第15回	43-45		相モデルにてカラーリング			
初回持ち物	筆記用具、ジェル検定初級で使用する用具一式					
成績評価方法	・出席率	定期試験		筆記試験		
	・定期試験や小テスト		○	実技試験		
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)						
科目名	資格選択授業 アロマ検定			クラス名	Q2D	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	-	後期	2 単位	2年合計単位	2 単位
担当講師	安齋 孝子					
	実務経験	有		アロマコーディネーター協会認定加盟校講師・同時にサロン経営15年の経験をもとにセラピストとして必要な知識、接客のポイントを現場のニーズに沿って指導する。		
目的及び概要	アロマセラピーについて必要な基礎理論と職場で役立つ知識、また日常生活で安全に活用できる実践的な方法を学びます。2021年月2月実施JAA日本アロマコーディネーター協会「アロマコーディネーター」試験内容に準じた授業を行います。アロマコーディネーターとは花や草から生まれる香りのエッセンスの知識をもとに、自然の香りに親しみ楽しみながらより豊かなライフスタイルを提案できる人のことを指します。(精油テキストにある31種類の精油の説明については各授業で全て行い、身体に対する働き、心に対する働き、皮膚に対する働きも学びます。					
到達目標	香りに対する理解を深めながらハンドクラフトのアイデアも養い、将来クライアントに適したアドバイスができる人材へ、最終的に認定試験合格を目指します。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1・2	精油の扱い方	オレンジ・グレープフルーツ・ベルガモット・レモン(バスソルト)			
第2回	3・4	精油の抽出方法	ティーツリー・パチュリー・ユーカリグロブルス (ボディシャンプー)			
第3回	5・6	キャリアオイルの種類	サイプレス・ジュニパー キャリアオイルの種類 (トリートメントオイル)			
第4回	7・8	ブレンドの計算	ブレンド方法 イランイラン・ジャスミン・ローズ(アロマローション)			
第5回	9・10	脳と嗅覚のしくみ	脳と嗅覚 カモミールローマン・カモミールジャーマン (フェイスパック)			
第6回	11・12	香りの歴史	フランキンセンス・ベンゾイン・ミルラ (ハンガリーウォーター)			
第7回	13・14	精油の安全性と危険性	カルダモン・メリッサ・レモングラス (みつろうハンドクリーム)			
第8回	15・16	トリートメント・生理学	ネロリ・ヤロウ・サンダルウッド・シダーウッド (フェイス美容オイル)			
第9回	17・28	香りの心理作用	クラリセージ・ゼラニウム・ラベンダー・マージョラム (ルームフレグランス)			
第10回	29・20	精油の化学	精油の成分を類ごとに知る 成分を分類ごとに知る(マウスウォッシュ)			
第11回	21・22	法令・香水の知識	ペパーミント・マージョラム・ローズマリー (オリジナルパフイム)			
第12回	23・24	香水の知識	香水の知識			
第13回	25・26	総復習	総復習			
第14回	27・28	試験対策	筆記試験・計算問題・作文対策			
第15回	29・30					
初回持ち物	テキスト2冊・筆記用具 ノート(B5サイズ)ルーズリーフ不可					
成績評価方法	・出席率		定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)	出席率	定期試験		平常点		
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				